

McAfee Endpoint Protection—Advanced Suite

ゼロデイ攻撃の阻止とコンプライアンス対応の支援

職場でのモバイル デバイスの利用が広まり、法規制が強化されている現在、セキュリティの管理はより難しい作業になっています。McAfeeのMcAfee® Endpoint Protection—Advanced Suiteは、統合されたプロアクティブなセキュリティ対策で高度なマルウェアやゼロデイ攻撃を阻止します。モバイル環境で使用されるエンドポイントにも対応し、会社のネットワークを保護します。統合された侵入防止機能により、高度脅威からデスクトップを保護します。ポリシーを一元管理し、マルチプラットフォームにも対応しています。すべてのエンドポイント資産を監査し、保護状態を維持できます。

攻撃者の手口は進化しています。高度な脅威を阻止するには、可視性を実現し、これらの脅威を検出できるツールが必要になります。エンドポイントに対するリスクは巧妙化する犯罪者の手口以外にも存在します。Webやメールゲートウェイ、ネットワーク ファイアウォール、ネットワーク侵入防止などの従来の技術で保護されていない環境（ホテルやコーヒーストップ、自宅など）でもラップトップが使用されています。Wi-Fi ネットワークでは通信が盗聴される可能性もあります。

会社のネットワークから切り離されたPCは、パッチや更新がタイムリーに適用されなくなるため、ゼロデイ攻撃を受けやすくなります。コンプライアンスを維持するためにもパッチや更新の重要性が高まっています。業界や政府の規制も強化されています。社内、社外を問わず、Webを適切に利用し、機密データの管理を厳格に行うことが企業に求められています。

McAfee® Endpoint Protection—Advanced Suiteは様々なセキュリティ対策、コンプライアンス管理、統合管理機能により、この課題を解決します。このソリューションは、ウイルス、ハッカー、スパム、情報流出を阻止するだけでなく、効率的な監査を実施し、コストの削減を図ることができます。

インテリジェントな統合セキュリティ

標的型攻撃を迅速に検出し、対応するには、脅威対策、検出、修復の戦略を立てるだけでなく、セキュリティ コンポーネントを統合するフレームワークが必要です。McAfee Endpoint Security 10 (スイートを含む) は、複数のエンドポイント保護技術とリアルタイムで通信を行い、新しい高度脅威を迅速に阻止し、システムやユーザーへの影響を未然に防ぎます。このフレームワークを使用すると、技術の重複を排除し、他のMcAfeeソリューションを統合して管理作業を簡素化し、保護対策を強化できます。また、McAfee Global Threat Intelligence (GTI) により、市場で最も優れたセキュリティ情報を利用し、分析を行うことができます。

主な特長

- システム、データ、メール、Webの脅威やコンプライアンス違反からWindows、Mac、Linuxを保護します。
- 1つのベンダーのソリューションにエンドポイントとデータ セキュリティが統合されているので、コストを削減しながらセキュリティ対策を強化できます。
- 集中管理機能と拡張性に優れたセキュリティ フレームワークにより、管理作業を効率的に行い、保護対策を強化できます。

データシート

ウイルスやスパムを阻止する最新の電子メール保護

弊社のソリューションは、送受信されるメールをスキャンし、スパム、不適切なコンテンツ、有害なウイルスの有無を確認します。不審なメールは隔離し、ネットワークやユーザーに影響を及ぼす攻撃を未然に防ぎます。また、メールサーバーを保護するウイルス対策により、ユーザーのメールボックスをマルウェアから保護します。

ゼロデイ攻撃と脆弱性に対する保護対策

緊急パッチを適用する必要がなくなります。エクスプロイト防止とホスト侵入検知がエンドポイントを監視し、不正なコードによるアプリケーションの乗っ取りや特権昇格を防ぎます。シグネチャを自動的に更新し、ノートPCとデスクトップを攻撃から保護します。組織のスケジュールに合わせてパッチをテストし、実装できます。弊社が特許を取得している動作対策でバッファオーバーフロー攻撃を未然に防ぐことにより、最先端の脆弱性対策を実現できます。

統合ファイアウォール

McAfee GTIを使用する弊社の統合ファイアウォールは、未請求の受信トラフィックをブロックし、送信トラフィックを制御します。これにより、ボットネット、分散型サービス拒否（DDoS）攻撃、高度な持続型攻撃、危険なWeb接続からデスクトップとノートPCを保護します。スタートアップ時は、ファイアウォールポリシーが完全に施行されるまで送信トラフィック以外は許可しません。

効率的なポリシー監査とコンプライアンス

エージェントベースのポリシー監査でエンドポイントをスキャンし、すべてのポリシーが最新の状態であることを確認します。ベストプラクティスのポリシー（ISO 27001、CoBITなど）や業界の主要な規制を遵守できます。

包括的なデバイス制御

USBドライブ、Apple iPod、Bluetooth機器、書き込み可能なCDやDVDなど、リムーバブルメディアを介した外部への情報流出を防ぎます。ユーザーや機密データの場所に関わらず、デスクトップやラップトップから実行されるすべてのデータ転送を監視し、制御します。ユーザーが会社のネットワークに接続していない場合でも管理できます。

McAfee が選ばれる理由

- 真の集中管理機能を提供します。
- 弊社の統合セキュリティフレームワークを使用すると、技術の重複を排除し、拡張性に優れたアーキテクチャを構築できます。
- McAfee Global Threat Intelligence は、業界で最も包括的な脅威情報を配信します。弊社は、業界で最も優れた保護対策と脅威情報を提供しています。

データシート

プロアクティブなWebセキュリティ

このソリューションでは、閲覧前に不正なWebサイトを警告するので、法令違反を防ぎ、Web閲覧でのリスクを回避できます。ホストベースのWebフィルタリングにより、Web サイトへのアクセスを承認またはブロックできます。時間や場所に関係なくユーザーを保護できます。プライベートURLもブロックできます。複数のWebサーバーの最新バージョンに対応しています。

運用コストを削減できる管理プラットフォーム

McAfee®ePolicyOrchestrator® (McAfeePO™) は、セキュリティ対策の管理と施行を一元的に行うプラットフォームで、セキュリティ管理のコストを削減できます。これにより、組織全体のセキュリティとコンプライアンスの対応状況を一目で把握できます。

エンドポイント、ネットワーク、データのセキュリティ対策から収集した脅威情報やイベントを相関分析することで、効果的なセキュリティ対策を実施し、コンプライアンス レポートを作成できます。すべてのセキュリティ ドメインを統合する管理プラットフォームを提供しているのは弊社だけです。McAfee ePOにより、セキュリティ管理が簡単になります。

迅速で簡単な配備

強化された保護対策を迅速に配備できます。数回のクリックでEASIインストーラーが強固な保護対策をインストールします。McAfee ePOとの統合により、1つの環境でセキュリティ対策の配備と管理を行うことができます。

簡単な移行

McAfee ePO、McAfee VirusScan® Enterprise、McAfee Agentの最新バージョンを使用している環境では、弊社の自動移行ツールで既存のポリシーをMcAfee Endpoint Security 10に移行できます。移行時間は20分程度です。*

データシート

機能	利点
単一コンソールでの統合管理	McAfee ePOにより、組織全体のセキュリティ状況やイベントを迅速に把握し、セキュリティとコンプライアンスを一元管理できます。
マルチプラットフォーム	Mac、Linux、Microsoft Windowsなど、社内やモバイル環境で働く従業員のエンドポイントを保護できます。
デバイス制御	リムーバブル ストレージにコピーされるデータを監視して制限します。また、社外に持ち出されるメディアを監視し、制限します。
デスクトップとノートPCを保護するIPS/統合ファイアウォール	ゼロデイ対策で新しい脆弱性を阻止します。緊急パッチの適用回数を減らし、ネットワークにアクセスするデスクトップ アプリケーションを制御してネットワーク攻撃を阻止できます。
マルウェア対策	ウイルス、トロイの木馬、ワーム、アドウェア、不審なプログラムをブロックし、機密データの漏えいやユーザーの生産性の低下を防ぎます。
スパム対策	マルウェアを散布するサイトやフィッシング詐欺サイトに誘導するスパムを排除します。
URLフィルタリングと安全検索によるWeb管理	不正なサイトを閲覧する前にユーザーに警告を行い、コンプライアンスを維持します。社内だけでなく、社外のネットワークに接続している場合でもユーザーを保護します。
メール サーバーの保護	メール サーバーへのマルウェアの侵入を阻止し、ユーザーのメールボックスを保護します。
ポリシー監査	HIPAA、PCIなどのコンプライアンス レポートを生成できます。

詳細情報

詳細については、www.mcafee.com/jp/products/endpoint-protection/index.aspxをご覧ください。

* 移行の所要時間は、既存のポリシーと環境の状況によって異なります。



〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティウエスト20F
Tel. 03-5428-1100 (代表)
www.mcafee.com/jp

McAfeeおよびMcAfeeのロゴ、ePolicyOrchestrator、McAfeePOおよびVirusScanは米国法人McAfee, LLCまたは米国またはその他の国の関係会社における登録商標または商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。 Copyright © 2017 McAfee, LLC. 417_0816
2016年8月